

少年警察学生ボランティアアンケート調査結果

全国少年警察ボランティア協会は、全国で活躍している少年警察学生ボランティアに対するアンケート調査結果をこのほどまとめました。

この調査は、令和3年9月16日から、各都道府県少協又は警察本部等が委嘱・登録している少年警察学生ボランティアを対象に、当協会ホームページにおいて配信しました「令和3年度全国少年警察学生ボランティア研修会(リモートパネルディスカッション)」を視聴した大学生ボランティアから、アンケートにご協力いただいた98名の回答をまとめました。

令和3年度全国少年警察学生ボランティア研修会アンケート調査結果一覧

実施期間 令和3年9月16日(木)～令和4年2月28日
アンケート回答者数 98名

質問 1 少年警察学生ボランティアの存在を知ったきっかけ

	質問内容	回答数	(%)
1	大学内掲示板の案内・募集ポスターなどによって	51	52.0%
2	大学(授業・ゼミ・その他)の教官(教授)から聞いて	13	13.3%
3	大学の先輩・友人から誘われて	13	13.3%
4	警察や警察職員から聞いて	9	9.2%
5	大学のクラブやサークルを通して	5	5.1%
6	全国少年警察ボランティア協会のホームページを見て	2	2.0%
7	大学のボランティア登録をされていて紹介された	1	1.0%
8 (その他)	県警ホームページ	1	1.0%
	大学からの一斉メールを見て	1	1.0%
	高校時代の友人がSNSで呼びかけているのを見て	1	1.0%
	少年サポートセンターのサイトを見て	1	1.0%
	計	98	100.0%

質問 2 少年警察学生ボランティア参加の動機

	質問内容	回答数	(%)
1	警察の仕事に興味があった。	27	27.6%
2	大学生として、社会貢献活動、ボランティア活動をしたかった。	25	25.5%
3	少年の非行防止や健全育成に興味があった。	24	24.5%
4	少年に関わる活動がしてみたかった。	16	16.3%
5	自身の進路選択に役に立つと思った。	5	5.1%
6	先輩・友人・警察職員・少年警察ボランティアから勧められた。	1	1.0%
	計	98	100.0%

質問 3 少年警察学生ボランティアの経験年数

	質問内容	回答数	(%)
1	半年未満	40	40.8%
2	半年以上1年未満	22	22.4%
3	1年以上2年未満	21	21.4%
4	2年以上3年未満	10	10.2%
5	3年以上	4	4.1%
6	無回答	1	1.0%
	計	98	100.0%

質問 4 少年警察学生ボランティアとして、どんな活動をしたか(複数回答)

	質問内容	回答数	(%)
1	街頭補導	35	26.5%
2	地域ふれあい活動(清掃活動・スポーツ活動・植樹活動・社会福祉活動など)	19	14.4%
3	インターネット利用によるサポート活動	19	14.4%
4	農業体験を通じた立ち直り支援活動	15	11.4%
5	学習指導	16	12.1%
6	少年相談	1	0.8%
7 (その他)	中高生にSNS利用の危険性を伝えるLINE広告のイラスト作成。	1	0.8%
	寸劇、啓発動画の作成	1	0.8%
	少年非行防止の歌、動画作成	1	0.8%
	ラジオを通しての発信	1	0.8%
	ポスター制作	1	0.8%
	インターネット安全利用に関するカレンダー作成のためのピクトグラム	1	0.8%
	学童での非行防止教室	1	0.8%
	児童の下校の見守り	1	0.8%
	活動していない	19	14.4%
	計	132	100.0%

質問 5 ボランティアを行うことで、大学から受けられる評価の有無

	質問内容	回答数	(%)
1	単位は与えられない	86	87.8%
2	単位が与えられる	6	6.1%
3 (そ の 他)	大学内のボランティア賞に、ボランティア活動証明書と自ら作成した報告書を送付することで応募ができます。	1	1.0%
	ボランティア活動支援論という科目を取った場合、ボランティア活動に参加し活動報告をする事で単位を得ることができます。	1	1.0%
	ポイントが与えられる。	1	1.0%
	無回答	3	3.1%
計		98	100.0%

質問 6 少年警察学生ボランティアとしてやってみたい活動（順位をつけて）

活動内容		順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
1	地域ふれあい活動(清掃活動・スポーツ活動・植樹活動・社会福祉活動など)		47	20	19	11	5	4	0
			44.3%	18.9%	17.9%	10.4%	4.7%	3.8%	0.0%
2	少年相談		25	12	20	23	21	5	0
			23.6%	11.3%	18.9%	21.7%	19.8%	4.7%	0.0%
3	学習指導		23	19	25	12	13	13	1
			21.7%	17.9%	23.6%	11.3%	12.3%	12.3%	0.9%
4	街頭補導		16	12	19	16	22	19	2
			15.1%	11.3%	17.9%	15.1%	20.8%	17.9%	1.9%
5	農業体験を通じた立ち直り支援活動		13	35	23	16	11	7	1
			12.3%	33.0%	21.7%	15.1%	10.4%	6.6%	0.9%
6	インターネット利用によるサポート活動		9	10	6	20	19	40	2
			8.5%	9.4%	5.7%	18.9%	17.9%	37.7%	1.9%
7	その他		2	3	3	8	2	4	84
			1.9%	2.8%	2.8%	7.5%	1.9%	3.8%	79.2%

主なその他の活動

学生ボランティア同士の話し合い。今後の活動について企画する活動	4
広報啓発用動画・ポスター等の作成	2
イベント等開催	2
少年補導員の方と学生ボランティアとの研修会	1
小中学校・児童相談所への訪問等	1
児童養護施設や地域の子ども居場所、少年宅に訪問、伝統工芸体験、社会見学などの居場所づくり活動	1
料理教室なども有効的に距離を縮めることができる活動	1
非行を行った少年への心理教育(円滑な対人関係構築のヒント等)	1

質問 7 警察や府県の協会等から研修や指導を受けたか

	質問内容	回答数	(%)
1	受けた	73	74.5%
2	受けてない	25	25.5%
	計	98	100.0%

質問 7-1 「受けた」との答えでは、どんな内容の研修等を受けたか(複数回答)

1	少年警察学生ボランティアとしての心構え	65	35.5%
2	少年非行の現状	39	21.3%
3	活動時の危険防止	34	18.6%
4	少年の特性や人権	23	12.6%
5	街頭補導要領	22	12.0%
	計	183	100.0%

質問 7-2 上記以外で受けてみたい研修や指導内容

	主な回答内容
1	少年たちとの関わり方、接し方
2	SNSを使った犯罪について
3	少年が非行を行ってしまう際に出てくる心理
4	非行少年の立ち直りのボランティア体験談
5	非行少年にかかわらず、犯罪心理や障害のある方が犯罪に巻き込まれたり、加害者となってしまう事例などの研修
6	少年が更生した後に感じていること等、更生後のことについての話を聞いてみたい

質問 8 少年警察学生ボランティアを経験して感じたこと、本当によかったこと。

	主 な 意 見
1	非行少年は怖いというようなイメージがありましたが、活動を通して将来少年に関わる仕事についてみよ うかなと前向きに考える事ができるようになりました。
2	学生として警察という仕事の一部に携わることができとてもうれしいです。
3	大人から子どもまで、全員に分かるように伝えるにはどうするべきかを常に考えて行動するようになりま した。
4	小さな頃からの夢や目標であった警察官と一緒に一つのことに向かって頑張ることができてよかった思 います。また、お互いがお互いに感謝できる環境に身をあげたことが何よりも嬉しかったです。自分自身 は警察官になりたいと言う目標を叶えるため、警察職員は大学生の若い力が欲しいと言うお互いのメリッ トがあるからこそ、より良い方向に進んでいけると感じました。
5	非行の現状を知り、考える機会が増えたため、ボランティアに参加していて良かったと思います。コロナ の影響であまり活動できていないものの、インターネットの安全利用を呼びかけるポスター作成に携われ ていることで、少しでも非行の防止に貢献できているのではないかと考えたことが私にとってとても良かつ たです。
6	街頭補導を通して、自分が子供たちの非行を防ぐことができ、自分でもできることがあると感じたこと。
7	非行少年についての偏見や考えが変化し、活動を通して少年と関わることで大学生として通じるものが あったため、よかった。
8	まず、少年をサポートする警察や職員の方々がいることをボランティアを通して初めて知ることができた。 警察ボランティアというと非行少年と関わるボランティアと思っていたが、非行防止という観点から、非行を していない子どもたちと関わったり、地域の活動に参加したりすることもあり、幅広い活動を通して様々な 経験をする事ができた。 そして、少年は何か特別な存在と表せばいいだろうか、近寄りがたいような人という固定観念があったが、 どの少年も見たい目は派手な場合もあるが普通の小中学生であり、1人1人が多くの良いところを持つ素敵 な子どもたちであることを知ることができ良かった。
9	最初、非行に走ってしまった少年を相手にするというにあたっては、正直怖いという気持ちでいたが 少年と接して行く内に、少年の方から非行に走ってしまった背景には家庭環境があまり良くないといったこ とを聞き、私が住む沖縄県では母子家庭が多く、こういった問題も数多くあるということ知ることができた。 そして、これをきっかけに沖縄県の多くの問題に気付かされた。
10	自分が誰かの役に立てていることを実感でき、自分に自信が持てるようになったことと、積極的に行動す るようになり、自分を成長させることができたこと。
11	様々な少年がいることを知ることができた。学生や少年のみではなく警察や他サポーターの方と関わる 機会があるため人との接し方を学ぶことができた。少年だけではなく自分も新たな経験をする事ができ、 楽しみが増えた。
12	学習支援をしていた少年が、志望の高校に見事合格した時は役に立ったと感じとても嬉しかった。
13	今回の研修会に参加することで、今迄知らなかった知識を知るきっかけになることが、今後の生活に役 立てると思った。コロナウイルスの影響や大学の授業の影響で中々ボランティアに参加することが出来て いないが、今後活動したいと心から思った。
14	直接少年らと関わることで、今の世代の若い人がどのような犯罪に巻き込まれやすいか、今の若い人が 何を考えているかなどがわかる。
15	私は、将来公認心理師として子供とかかわる仕事に就きたいと考えているので、この大学生ボランティ アの経験は、これから様々な子供とかかわっていくうえで非常につながりのある活動であったと感じてい る。子供との接し方や距離の縮め方などについて勉強することができてとても良かった。

質問 9 触れ合った少年たちを見て感じたこと

	主 な 意 見
1	少しコミュニケーションが不器用な少年が多いと感じた。言葉にあまり出さずに、態度や雰囲気や自己表現をしていだと思う。少しでも少年の変化に気がつけるようにしたいと思った。
2	少年の心を開くには時間がかかったが優しく将来のために努力している姿を見ることができたので良かった。
3	急に大きな変化が起こらなくとも、確実に少年は成長していて、少年が少年らしくいられていると感じられると、適応的な言動が増えているように感じた。家庭環境など、様々な事情を抱えた少年が多く、経済的な事情など、自分がどうにかできる問題に直面すると無力さを感じることもあるが、できることをこれからも続けて、少年を支えられたらと思う。少年に会えると、元気がもらえる。大切な体験をさせてもらっていると日々感じている。
4	多様性を受け入れることが大切だと思った。自分基準ではなく、様々な視点から考えることが必要だと感じた。
5	最初は人見知りをして上手く話してくれない子もいるが、話をしているうちに心を開いてくれる子が多い。ボランティアが少年たちの心の居場所になればと強く感じる。
6	少年たちは仲間の存在を強く意識していると感じた。他の友達が集中していると自分も勉強に取り組み、友達がふざけていると自分も合わせている印象を受けた。
7	アニメが好きで、物知りな一面があった非行少年と関わる機会があり、自分の好きなことの話になると、イキイキと楽しそうに話していた。少年の中で一つでも好きなことがあることは、誰かとコミュニケーションが取れるきっかけになると感じた。非行少年と関わる際は、少年たちの好きな話ができるように、雰囲気作りを大切にしようと考えた。
8	子どもたちと話していると、雑談の中のさりげない一言から上手く学校に溶け込めないことや家族関係が明らかになることがあると感じる。そういった話から、非行には少年自身の問題というよりは、周りの環境や人が大きく影響しているのではないかと考えるようになった。
9	見かけ上は何も変わりがないように見えたが、ちょっとした言動から寂しさを感じられたり、ある子はどこか大人びたりしていたので、それぞれの子の事情を踏まえたうえで、気持ちをよく考えながら接したいと思った。
10	一つの作業を終えることに嬉しそうで楽しそうで、やってよかったと思う。きつく注意をすとかはしないで、優しく教えてあげることでより、コミュニケーションをとることもつながったと感じた。
11	みんな素直で、きちんと向き合って話を聞いてあげれば「非行」少年とは思えない。つまり、非行少年や、問題行動の多い少年も、ただ一つ個性が強かっただけで、普通の子供達と何ら変わらない、特別扱いの必要はない(というか、特殊な子だ、という色眼鏡を通して見るべき子ではない)と感じた。
12	はじめのうちは緊張した様子を見せていたが、活動が進むにつれて女子トークや恋の話など、まるで友達と話す内容の話をしていった。そんな話の中で、子どもが「絶対に言わないでほしいんだけど、～ことしちゃったんだよね」という内容を話す場面があり、秘密を守るのは勿論のこと、決して強く批判したり責めたりしてはいけないという配慮にも気を使った。笑顔を見せてくれた場面も多くあり、それがとても嬉しく、また今後もその素敵な笑顔でいてほしいと思った。
13	一見普通の少年に見えても話したり行動を観察していたりすると問題がある少年がいると感じた。こちらから話を広げるだけでなく彼らから話したくなるような接し方を身につけたいと感じた。また、こういった考えが広まり沢山の支えとなる人が増えると嬉しいと感じた。
14	私自身が担当した少年は、感情が一度高まってしまうと誤った行動をしてしまう子でした。受験生ということも1つの要因で、そのため、学習支援を通して受験と向き合えるように接することで落ち着いた行動をとるようになった。そのため、支援する私自身が真摯に少年と向き合うことが大切だと感じた。
15	最初は、全く相手から喋りかけてくることはなかったけど、自分の方から喋りかけることを意識してやるようにしたら、少しずつ相手の方から喋ってくれるようになったり、授業も私が教室に着く前から待っていていたり、徐々に学習意識が高まってとても嬉しかった。

質問 10 将来への志望は

	質 問 内 容	回答数	(%)
1	警察官や少年補導職員	42	42.9%
2	教員(幼稚園、小・中・高校)保育士	15	15.3%
3	公務員(法務教官、刑務官、自衛官、家庭裁判所調査官等)	16	16.3%
4	子供に関われる仕事	8	8.2%
5	臨床心理士・看護師(精神保健福祉士を含む)	5	5.1%
6	会社員	2	2.0%
7	医療系	1	1.0%
8	エンジニア	1	1.0%
9	無回答	8	8.2%
	計	98	100.0%

